

I. 研修の開催に関すること

- 1. 研修開催場所の箇所数 ( 2 )箇所
- 2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと(開催地域や開催会場の選定にあたって考慮した事柄があれば, ご自由にご記入ください)

○ 対象人数が限られているため, 開催地域を分散せず, 対象者の多く交通の便の良い広島市内での開催とした。

- 3. 研修開催回数 延べ( 4 )回

II. 研修受講者に関すること

- 1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	( 22 )名	( 22 )名
第2回	( 24 )名	( 23 )名
第3回	( 27 )名	( 27 )名
第4回	( 20 )名	( 20 )名

2/13実施予定  
3/24実施予定

※ 必要な場合, 行を挿入した上でご記入ください

※ 各講義・演習ごとに部分的に受講する研修形式の場合には, 当該講義・演習ごとの人数を記入してください  
(講義・演習ごとの記入が不可能な場合は, 延数を記入願います)

2. 研修受講者の所属施設  
(実数で記入下さい)

(記載例) -----

【応募者数・参加者数】  
Aさんが、4月と10月に  
研修に参加した場合に  
「1」と計上

施設種別	応募者数	受講者数
病院	( 32 )名	( 32 )名
診療所	( 1 )名	( 1 )名
助産所	( 0 )名	( 0 )名
介護老人保健施設	( 0 )名	( 0 )名
指定訪問看護事業所	( 0 )名	( 0 )名
その他 ( )	( 0 )名	( 0 )名

3. 研修受講者のうち、病院の  
場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 0 )名
100～200未満	( 0 )名
200～400未満	( 13 )名
400床以上	( 19 )名

4. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等について  
ご自由にご記入ください)

- ◆ 受講資格・対象  
平成23年度の新人助産師
- ◆ 選考基準
  - 各研修の定員を20名とし、受講資格を満たしていれば申込者全員を受講可とした。
  - 但し「新生児蘇生法」は、指導者数・使用教材等の制約から定員厳守とし、定員を超えて申込があった場合は調整を行うこととした。

## 5. 事業の周知及び公募方法(ご自由にご記入ください)

<研修参加に対する周知・公募方法>

- 委託先である(社)広島県看護協会を通じ、助産師が入職する病院及び有床診療所に対し文書で公募
- 関係団体への周知依頼
- (社)広島県看護協会の理事会、支部長会等で口頭による周知

<事業広報>

- 年度当初に、新人看護職員研修事業紹介を県内の全病院に文書通知し、新人助産師研修についても実施予定を広報
- 関係団体及び県HPでも、同様の広報を実施
- メディアへの事業紹介  
(地元新聞社からの取材により、第1回の研修会が記事として掲載された。)

## Ⅲ. 研修内容に関すること

### 1. 受講形式

A 全日程を受講することを基本としたコース形式

**B** 講義毎に部分的に受講する形式

### 2. 研修プログラム

時期(月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法	
1月	分娩期のアセスメントとケア	5時間	目標	正常分娩を扱う上で基礎となる分娩第1～4期の適切なアセスメント、リスク管理および助産ケアについて理解する。
			方法	講義
			内容	分娩第1～4期のアセスメント/分娩期のケア(産痛緩和ケアを含む)/リスク管理と助産ケア
1月	新生児のフィジカルアセスメント	2時間	目標	新生児のバイタルサイン、全身状態、成熟度と発育、異常所見等について理解する。
			方法	講義
			内容	新生児のフィジカルアセスメント
1月	新生児胎外適応の促進	3時間	目標	新生児の生理的変化が順調に経過し、胎外生活に円滑に適応できるように支援するために必要な理論とケアについて理解する。
			方法	講義・演習
			内容	新生児胎外適応の促進(呼吸・循環・排泄・栄養)/新生児胎外適応の促進ケア
2月	母乳育児支援	5時間	目標	母乳分泌のメカニズム・母乳育児支援について理解し、母乳育児を確立するためのケアについて学ぶ。
			方法	講義・演習
			内容	WHO母乳育児成功のための10カ条/母乳分泌のメカニズム/母乳栄養確立のためのケア/卒乳に対する支援
3月	広島県の周産期医療の動向	1時間	目標	広島県の周産期医療の動向について理解する。
			方法	講義
			内容	広島県の周産期医療の動向
3月	新生児蘇生法	3時間30分	目標	緊急時に対応できるよう新生児蘇生法の理論と技術を習得する。
			方法	講義・実技演習
			内容	新生児蘇生法(Bコース)

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師, 教授など大学の教員も含む) ( 0 )名  
②臨床現場の看護職員 看護部長, 副看護部長, 看護師長 ( 1 )名  
施設の教育担当者(教育責任者等) ( 1 )名  
専門看護師・認定看護師 ( 1 )名  
その他 ( 6 )名

その他の職種： 職種等( 医師 ) ( 2 )名  
職種等( 助産師 ) ( 1 )名  
職種等( 看護師 ) ( 2 )名  
職種等( 行政 ) ( 1 )名

### 4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数, 時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には, 1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 4 )日 ( 20 )時間( 10 )分

5. 4. の内訳 講義 (15)時間(40)分 演習 (3)時間(50)分  
その他 ( - ) ( - )時間 オリエンテーション ( 40 )分

## IV. 事業の評価等に関すること

### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

#### 【研修テーマ等の企画】

- ① 集合研修の企画に関する事前検討会を開催した。  
回数：1回  
出席者：総数 11名  
(主催者側3, 助産師6, 新生児集中ケア認定看護師1, 受託者側2)
- ② 厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン(助産技術)」を参考に, 妊産婦・新生児・褥婦に関する項目を企画に取り入れた。
- ③ 県による「新人助産師研修の実施状況及び集合研修・受入研修」アンケート結果を参考に, 研修ニーズの高い研修項目を組み入れた。

#### 【研修方法】

- ① 集合研修とし, 研修時間は1日5時間程度とした。
- ② 講義, 演習(実技演習, グループ演習)

#### 【その他】

- 新人助産師集合研修は, 毎年度後半(10月~2月末頃)に実施することとした。  
(理由: 新人ナース集合研修を当該年度前半(5月~8月末頃)に開催し, 新人助産師にも受講機会が得られるように研修時期を設定したため。)

## 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

- 研修会への参加状況からは、新人助産師が入職した施設の大半から、新人助産師の研修申込みがあり、現場のニーズに合った研修企画となっていると考える。
- 研修評価については、研修終了時に受講者全員に評価アンケートを実施することとしており、アンケート結果等を踏まえ、更に事業評価を行い、次年度研修に活かすこととしている。  
(アンケート内容：研修の満足度、研修の理解度、研修に参加した目的の達成度)

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託    A 委託していない     B 委託している    委託先( 社団法人広島県看護協会 )